

**アークフラッシュされた全国48箇所の老人施設は9年間インフルエンザの発症が報告されていません。**

< \* > <http://www.arc-flash.co.jp> アークフラッシュ NEWS をダウンロードによりご覧頂けます

(CNN) 世界保健機関(WHO)は7日、中国北部でアヒルを処理した女性が鳥インフルエンザウイルス(H5N1型)に感染し、北京市内の病院で死亡したと発表した。

新華社通信によると、女性は12月19日、北京市近郊の河北省廊坊市の市場でアヒル9羽を購入。解体、洗浄して親族や友人に配ったという。同月27日に入院し、5日朝に死亡した。毒性の強いH5N1型ウイルスへの感染が同地域で報告されたのは初めてとされる。北京市衛生当局は女性が接触した116人を追跡したが、ほかに発症者は確認されなかった。当局は女性の自宅を消毒、封鎖し、5日に北京市内で対策会議を開いた。新華社通信によれば、廊坊市当局は感染源の特定を急いでいるが、市場では現在もアヒルが売られているという北京市衛生局によると、黄さんと密接に接触した人の数は116人に上った。内訳は家族や近所の人14人、医療スタッフが102人。うち看護師1人が発熱したが、すでに回復したという。

五泉市の市立小4年の女子児童(10)がインフルエンザ脳症で死亡していたことが5日分かった。同市健康福祉課が明らかにした。県によると、インフルエンザによる死亡は今シーズン初めて。同市によると、児童は12月28日、高熱で同市内の医療機関を受診。29日にインフルエンザ脳症と診断され、新潟市民病院に入院したが、3日早朝に死亡した。予防接種は受けていなかったという。インフルエンザ脳症はインフルエンザウイルス感染に伴って、意識障害などが急激に起こる合併症で、乳幼児に多いとされる。

## 感染列島 !!

新型インフルエンザが日本を襲った!? ワクチン接種も効果がなく、第一感染者は死亡。なぜだ!! 病院は大パニックに。そこへ事態収拾のため、国際機関から一人の女性医師が送り込まれた—。「感染列島」は、愛する人を、そして日本を守るため、“目に見えない敵”ウイルスに立ち向かう勇敢な人たちを描く。現代を生きる人間必見の大作だ。鳥類のインフルエンザウイルスが人に感染する新型インフルエンザの流行は「起きるか起きないか」ではなく「いつ起きるのか」が問題になっている。2500万人が病院へ行くと仮定して対策を立てている日本政府は、最大200万人が入院、64万人が死亡すると予測。現代人にとって人ごとではない新型ウイルス感染を、オリジナル脚本も書き下ろした瀬々敬久監督がリアリティーたっぷりに描く。

2011年。正月明けの病院に、一人の男が運びこまれた。高熱、けいれん、吐血、多機能不全。新型インフルエンザの症状だ。救命救急医・松岡剛(妻夫木聡)が診察するが、ワクチンは効かず死亡する。号泣する妻の麻美(池脇千鶴)。その後、院内感染で松岡の同僚・安藤(佐藤浩市)までが死んでしまう。調査と感染拡大防止のため、WHO(世界保健機構)からメディカルオフィサーが病院へ派遣された。彼女を見て驚く松岡。昔の恋人・小林栄子(檀れい)だったのだ。栄子は病棟を隔離して、ウイルス感染患者の治療に当たる。それでも、次から次へと死んでいく患者。院内は地獄のようだった。猛スピードで全国にまん延するウイルス。このままでは患者は数千万人を超えてしまう。ある日、病院の近くに怪しい人影が現れた。追い掛けた松岡に話しかけてきたその男は、ウイルス研究者・鈴木浩介(カンニング竹山)だった。松岡からウイルスの検体を入手した鈴木は、大きな発見をする。そして第一感染者の妻・麻美も、海外から一時帰国していた医師の父・修治(嶋田久作)について重い口を開いた。原因究明へ少しずつ近づいていく松岡は、鳥インフルエンザの権威・仁志(藤竜也)とともに、東南アジアの小さな島へ飛ぶ。そこで2人が見たものは、目を覆うような惨状だった。医師役は初めての妻夫木が、初共演の檀と血まみれになりながら体当たりの演技を見せている。病院内で奮闘する看護師・多佳子(国仲涼子)と夫・英輔(田中裕二)、幼い娘の家族愛に涙腺が緩むのも間違いない。昨年5月のカンヌ国際映画祭で、製作初期の段階にもかかわらず話題を集めた本作。14世紀にはペストで、19世紀にはコレラで、20世紀に入ってからにはスペインインフルエンザで多くの人間が死亡した欧州で注目されたのは当然だ。米ハリウッドもリメイクに意欲を見せているという。見どころ満載のパニック大作だが、このような惨状はスクリーン上だけであることを祈りたい。

**自分の命と家族の命は国は守ってくれません。アークフラッシュで予防することは最低コストで大きな守護を得ることができます。**

**\* 発行責任者: 株式会社アークフラッシュ本部**  
笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 [sasagawa@arc-flash.co.jp](mailto:sasagawa@arc-flash.co.jp)

過去のアークフラッシュ NEWS はホームページよりご覧になれます。